



東証1部 2818

株式会社 **ピエトロ**

2020年3月期 第2四半期
2019年4月1日～2019年9月30日

決算説明会

■ 2020年3月期第2四半期 連結決算概要



1

- ・ ドレッシング値上げ等の影響による売上減
- ・ レストラン店舗閉店等による売上減
- ・ 新規カテゴリー育成費用増加
- ・ 2期ぶりの減収減益

単位：百万円

項目	19/3期 第2四半期		20/3期 第2四半期		前期比 (%)
	実績	構成比	実績	構成比	
売上高	5,074	100.0	4,786	100.0	94.3
売上総利益	3,041	59.9	2,870	60.0	94.4
営業利益	410	8.1	214	4.5	52.1
経常利益	408	8.1	211	4.4	51.8
親会社株主に 帰属する当期純利益	258	5.1	83	1.8	32.4
自己資本比率	59.2	—	61.6	—	—
ROE	5.0	—	1.6	—	—

■ 2020年3月期 第2四半期上期 セグメント概要

食品事業：減収減益 予測を上回る値上げの影響



2

単位：百万円

項目	19/3期 第2四半期	20/3期 第2四半期	前期比	前期差
売上高	3,631	3,414	94.0%	▲216
営業利益	1,034	869	84.1%	▲164

〈ドレッシングカテゴリー他〉（前期比90.9%）

- ・ 8月からの値上げの影響をうけ、主力ドレッシングの売上減
- ・ ドレッシング市場は今期、縮小傾向も見られるが、上期シェアは維持

〈パスタカテゴリー〉（前期比119.9%）

- ・ 「おうちパスタ」が前期比162%
- ・ レトルトパスタ「絶望スパゲティ」販売好調



〈冷凍商品・スープカテゴリー〉（前期比128.3%）

- ・ プレミアム冷凍食品「シェフの休日」好調
- ・ 4月からスープ事業展開



【減益要因】

- ・ 主力280m l 売上減少による粗利益減（▲144百万円）
- ・ 新規カテゴリー育成費用増など（▲50百万円）

■ 2020年3月期 第2四半期上期 セグメント概要

レストラン事業：減収減益 店舗閉店の影響で売上減



3

単位：百万円

項目	19/3期 第2四半期	20/3期 第2四半期	前期比	前期差
売上高	1,360	1,287	94.6%	▲72
営業利益	41	9	23.0%	▲32

【売上高】

〈直営レストラン・FC事業等〉

- ・既存店前年比は16か月で連続100%超え
- ・ディナーやランチメニューの充実により客数、客単価ともに前期を上回る
- ・閉店店舗による売上高減（▲139百万円）

〈ミスタードーナツ事業〉

- ・取り扱い店舗減少などによる売上減

【利益】

- ・不採算店閉店による利益増（+10百万円）
- ・人件費影響（▲12百万円）
- ・ミスド事業売上減少による利益減
- ・店舗改装費用増など



お酒に合う一皿メニュー



2020年3月期 下期施策・通期見通し

■ 2020年3月期 下期施策・通期見通し



5

【食品事業】

1. ドレッシングカテゴリー

- ・主力280mlシリーズは第4四半期より回復予想
- ・価格訴求ではなく価値訴求
- ・催事販売などによる新規顧客獲得

2. パスタカテゴリー

- ・「おうちパスタ」配荷率アップ継続
- ・「レトルトパスタソース」(流通)・「ファーマーズ」(通販)拡販強化
- ・「ガーリックオイル」・「辛味ソース」等パスタ関連商品強化
- ・「AGNESIブランド」販売網拡大、ブランド育成



シェフによる食べ方提案催事販売の様子

3. 冷凍商品カテゴリー

- ・プレミアム冷凍商品「シェフの休日」
→取り扱い店 前期末比160.6%



AGNESIブランド



絶望スパゲティ

4. スープカテゴリー

- ・スープシーズン売上拡大
- ・ギフト市場を意識した商品提案
- ・新たな取り組み PIETRO ADAY オフィス便
- ・スープカフェ・ショップによる認知拡大
→岩田屋ショップ11月中旬オープン



PIETRO ADAY マルイ溝口店

■ 2020年3月期 下期施策・通期見通し 【食品事業】



6

単位：百万円

項目	20/3期 当初予想	20/3期 修正予想	当初予想 増減額	19/3期 実績	前期比
売上高	7,155	6,855	▲300	6,934	98.9%
営業利益	1,945	1,810	▲135	1,886	96.0%

【修正理由】

〈ドレッシングカテゴリー他〉

- ・ 値上げの予測を上回る影響により、売上高減

〈パスタカテゴリー〉

- ・ 当初予想通りの10億円を目指す

〈スープカテゴリー〉

- ・ 初年度獲得売上1億円



■ 2020年3月期 下期施策・通期見通し

【レストラン事業】

1. 直営レストラン事業

- ・新グランドメニュー（9月25日から実施中）
→ディナーに対応したサイドメニューや高価格帯メニュー、スープメニューの充実
- ・人気のカルボナーラフェア、冬季エビカニフェアの継続
- ・引き続き客数客単価増を図る
- ・AGNESIパスタやADAY商品など物販強化
- ・新しい研修や待遇改善など、スタッフのモチベーションアップからサービス強化へ

2. ミスタードーナツ事業

- ・当初600店舗計画 → 500店舗実施見込み

3. スープ事業

- ・スープカフェ業態を神奈川県横浜市に新規オープン（2月中旬）



新グランドメニュー
海の幸



長尾店
ADAYスープ物販コーナー



スープカフェ
新規出店イメージ

■ 2020年3月期 下期施策・通期見通し 【レストラン事業】



単位：百万円

項目	20/3期 当初予想	20/3期 修正予想	当初予想 増減額	19/3期 実績	前期比
売上高	2,500	2,348	▲152	2,584	90.8%
営業利益	35	20	▲15	32	62.3%

【修正理由】

〈直営レストラン事業〉

- ・店舗閉店計画の前倒し

〈FC事業〉

- ・新規出店計画が来期へ

〈ミスタードーナツ事業〉

- ・取り扱い店舗減少などによる売上減

■ 2020年3月期 連結業績予想



9

2019年5月14日に公表いたしました業績予想を修正いたします

単位：百万円

項目	20/3期 当初予想	20/3期 修正予想	当初予想 増減額	19/3期 実績	前期比
売上高	9,820	9,368	▲452	9,683	96.7%
営業利益	550	400	▲150	538	74.2%
経常利益	540	394	▲146	530	74.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益	300	191	▲109	288	66.2%
配当（円）	21	21	—	21	—

当資料取扱上の注意点

当資料には、「将来の見通しに関する記述」が記載されております。将来の見通しに関する記述は現在、入手可能な情報に基づく当社の経営陣の仮定及び判断に基づくものであり、この記述には当社の業績に関する経営陣の目標、所信または予想が含まれております。過去や現在の事実に関連しない全ての記述並びに「予測する」、「見込んでいる」、「推計する」、「期待する」及びこれに類する表現の記述は将来の見通しに関する記述となります。

これら将来の見通しに関する記述は、当社の将来の業績等にかかる記述によって表現された内容を保証するものではありません。また、実際の業績等がこの資料に記載される将来の見通しに関する記述と大きく異なるリスクや不確実性があります。従いまして、当社の業績などの予測を立てられる際に、これら見通しに全面的に依拠されることはお控えくださいますようお願い致します。また、法律上必要とされる場合を除いて、当社は事前の予告なく、将来の見通しに関する記述を見直したり、将来の見通しの根拠となった仮定および要因についての変更を行うことがございますのでご了承ください。

＜お問合せ先＞

取締役 経理・I R部長 森山勇二

TEL／092-724-4925 FAX／092-751-4352

E-mail ir@pietro.co.jp URL <https://www.pietro.co.jp>



会社概要



会社名	株式会社ピエトロ
代表者	代表取締役社長 高橋泰行
創業	1980年12月
上場	2015年12月24日 東証 1 部
資本金	10億4,238万円
事業内容	食品事業（通信販売事業を含む） レストラン事業 その他（本社ビル等の賃貸）
連結子会社	株式会社ピエトロフレッシュサプライ ANGELO PIETRO, INC.（米国） 合同会社のかべジファーム
発行済株式総数	6,257,230株
連結従業員数	231名
株主数	16,438名

ピエトロの歴史



13

ピエトロのはじまりは、一軒のレストランからでした。
経営理念でもある「**おいしさ**」と「**健康**」に対するこだわりは、
今も変わらない当社のコアコンピタンスです。

パスタ専門店「洋麺屋ピエトロ」を
福岡市中央区天神に創業

- 1980年 福岡市中央区天神に洋麺屋ピエトロ創業
- 1981年 ドレッシングの流通販売開始
- 1986年 フランチャイズ1号店（久留米）オープン
- 1988年 海外でのドレッシング販売開始

- 1990年 ドレッシング工場竣工（福岡県古賀市）
- 1992年 ハワイ店オープン
- 1995年 パスタソース販売開始
- 1998年 テレビCM全国ネット放映開始

- 2001年 ファストフード ミオミオ事業開始
- 2002年 東京証券取引所市場第二部上場
- 2007年 日清オイリオグループとの資本業務提携

- 2013年 アジアへのドレッシング販売開始
- 2013年 ISO22000認証取得
- 2015年 東京証券取引所市場第一部上場
- 2015年 「野菜嫌いをナオソ。」食育活動を開始
- 2016年 新株式発行（増資）
- 2016年 工場の増改修により、生産能力が倍増
- 2019年 新ブランド「PIETRO A DAY」直販店の有楽町店オープン



創業者 村田邦彦





決算数值報告

損益計算書



15

単位：百万円

【連結】	15年3月期	16年3月期	17年3月期	18年3月期	19年3月期	20年3月期 (修正計画)
売上高	9,554	9,728	9,825	9,618	9,683	9,368
営業利益	599	522	496	518	538	400
経常利益	593	507	474	510	530	394
親会社に帰属 する当期純利 益	296	314	469	284	288	191

バランスシート



16

単位：百万円

主な増減要因

【連結】	2019年3月末	2019年9月末	増減
流動資産	3,466	3,217	▲249
固定資産	5,370	5,393	+22
資産合計	8,837	8,611	▲226
流動負債	2,918	2,728	▲190
固定負債	598	575	▲22
負債合計	3,517	3,304	▲213
純資産合計	5,320	5,306	▲13
負債純資産合計	8,837	8,611	▲226

売掛金 ▲328百万円

有形固定資産 ▲36百万円
無形固定資産 +11百万円
投資その他 +47百万円

買掛金 ▲48百万円
未払金 ▲68百万円
未払法人税等 ▲50百万円

長期借入金 ▲59百万円
退職給付引当金 +26百万円

キャッシュ・フロー計算書



17

単位：百万円

主な増減要因

【連結】	2018年9月期	2019年9月期	増減	
営業活動によるCF	5 2 5	3 6 4	▲ 1 6 0	税引前当期純利益の減少
投資活動によるCF	▲ 5 2	▲ 1 7 3	▲ 1 2 0	固定資産取得による支出増
財務活動によるCF	▲ 3 8 9	▲ 2 1 4	+ 1 7 4	借入金の返済が減少したことによる支出減
現金及び現金同等物期末残高	1, 6 0 6	1, 6 5 7	+ 5 1	

2020年3月期 第2四半期 セグメント別 決算概要 18

単位：百万円

項目		18年9月期	19年9月期	前期比	
				金額	比率(%)
食品事業	売上高	3,631	3,414	▲216	94.0
	営業利益	1,034	869	▲164	84.1
レストラン事業	売上高	1,360	1,287	▲72	94.6
	営業利益	41	9	▲32	23.0
その他事業	売上高	83	84	+0	100.8
	営業利益	45	42	▲3	92.0
計	売上高	5,075	4,786	▲288	94.3
	営業利益	1,121	921	▲200	82.1
消去又は全社	売上高	▲0	—	▲0	—
	営業利益	▲711	▲707	+3	—
合計	売上高	5,074	4,786	▲288	94.3
	営業利益	410	214	▲196	52.1